



みわを元気に



三和地域協議会ニュース 第35号 令和3年1月20日発行

三和地域の人口・世帯数
 男 1,539人
 女 1,622人
 合計 3,161人
 世帯数 1,664世帯
 (令和2年12月末 現在)

発行：三和地域協議会
 編集：広報編集委員会

三和地域福祉推進協議会で 防護服を作りました

福祉推進協議会という団体があるのをご存知でしょうか？
 基本的に小学校区単位で設立されている、地域の中の団体（自治会・民生委員などの団体・機関）や個人が寄り合って、それぞれの地域の住民が明るく、健全な生活を保つためにどうすればよいか、また、地域の中で起こっている悩みを解決するための活動をどのように進めていくべきか等を話し合い工夫するための組織です。三和地域には「三和地域福祉推進協議会」があります。



二階での作業の様子



一階での作業の様子

昨年12月11日、その三和地域福祉推進協議会の事業として、千束の三和会館で「手づくり防護服」作りが行われました。新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、医療機関だけでなく、福祉施設などでも防護服を着て対応する必要があります。この防護服は使い捨てのため、少しでも多く寄付できればということです。この日は社会福祉協議会三和支所の職員の方にポリ袋を使った防護服の作り方を教えていただいた後、1階と2階に分かれて、2～3人ずつで協力しながら作業をされました。ここで作られた防護服は、社会福祉協議会を通じて福祉施設などに配布されます。



ポリ袋で作った防護服

新年のごあいさつ



三和地域協議会
会長 松下 正美

あけましておめでとございます。旧年中は色々とお世話になりました。ありがとうございます。昨年、三和地域にとっての大きな課題として三和荘の問題がありましたが、三和荘存続住民会議を立ち上げ、住民の想いを行政にも理解していただき、存続の方向に動き出すとされています。今後また三和全体で取り組むべき課題が生じた時には、今回のように一致団結して解決に向

かかっています。また、昨年は子育てしやすい地域づくりに向けて地域活力部会で毎年取り組んでいる「みわこどもまつり」などのイベントや講演会が、新型コロナウイルスの影響で開催できず、大変残念な思いをいたしました。今後は開催可能な方法を考えつつ、三和を元気にするための催しを行っていきたく思っています。

有償運送「みわひまわりライド」についても、一時的に新型コロナウイルスの影響で利用が減少しましたが、徐々に利用者数も戻ってまいりました。今年もコロナウイルスには充分気を付けながら、日々の生活にご利用していただけるよう運営してまいります。このコロナ禍の中、協議会では新

たな取り組みに向けた活動を行っています。生活基盤部会においては、地域包括ケアシステムの実現に向け、住民の助け合いシステムを構築すべく、今年夏ごろからのスタートを目指して全力で取り組んでいます。互助・共助で成り立つシステムになると思しますので、ご協力よろしくお願いいたします。

交流・連携部会では、福知山公立大学の学生が提案してくれた、三和の良い所を再認識するためのフォトコンテスト開催に向けて、大学生と共に内容を検討しています。今後、三和地域協議会は「三和地域住民と行政との協働」という行動理念を胸に、住みよいまちづくりを進めてまいります。本年もよろしくご協力をお願いします。

1月の新刊本

一般実用書

鎌田實の人生図書館 あなたを変える本と映画と絵本たち400	鎌田 實
お寺のどうぶつ図鑑	今井 淨圓監修
世界はもっと！ほしいモノにあふれてる バイヤーが教える極上の旅	NHK「世界はほしいモノにあふれてる」 製作班
図解ストレス解消大全 科学的に不安・ イライラを消すテクニック100個集めました	堀田 秀吾
リメイクしたらオンリーワンができました。 その服捨てるのちょっと待った！	津田 蘭子
全国厄除け郷土玩具 疫病退散！入手先・由来・ ご利益のすべてがわかる	中村 浩訳
生きるコツ	姜 尚中
日本のあかるいニュース	池上 彰／監修
マルティナさんのカラフル系で編むレッグウエア	梅村 マルティナ
選び放題！鍋レシピ250 激ウマおうち鍋の決定版！食べたい鍋が必ず見つかる！	主婦の友社
100均グッズで簡単！お菓子作り	中島 純代

図書館からの おしらせ



明けましておめでとうございます。今年も、三和分館が、地域の皆さまのお役に立ち、そして愛されるよう取り組んでまいりますのでよろしくお願い申し上げます。新刊本を揃えてお待ちしております。

<三和分館1・2月の予定>

- 1/29(金) おはなし会
(限定4組 1/15(金)～予約開始)
- 2/3(水)・4(木)
蔵書点検による休館
- 2/26(金) おはなし会
(限定4組 2/12(金)～予約開始)



みわしまわり Ride 利用状況をお知らせします！



累計（平成29年10月～令和2年12月）	
会員登録者数	138人（内訳：男性34人・女性104人）
利用者数	97人（内訳：男性23人・女性74人）
運行便数	2,043便
輸送人数	2,340人（うち、「相乗り」利用者569人）

Q&A Q：2人～3人の「相乗り」で利用できますか？

A：同じ地域内や目的地までの道中にお住まいの人など「相乗り」ができます。また、予約の状況によっては事務局から「相乗り」をお願いすることもあります。また、2019年8月からは「相乗り」利用時に運賃の割引サービスをしています。詳しくは、事務局（担当者）までお尋ね下さい。

Q：短時間で済む用事や複数の場所に用事がある場合、送迎車は待ってもらえますか？

A：短時間で終わる用事であること、また、それぞれの目的地が近い（例えば千束周辺）場合には、運転手に事前の了解を得たうえで「待機」します。

なお、医療受診など時間がかかる用事は、「行き」と「帰り」を分けて配車します。

Q：路線バスの乗り継ぎのため午前8時30分より早く利用したいのですが？

A：対応できる運転手が手配できれば運行しますので、お早めにご相談ください。



公立大学の地域授業は後期のみ実施 —成果発表会は2月20日に大学で—

福知山公立大学の一回生が、6班に分かれて市内各地域で実施する「地域経営演習」が、今年度も実施されました。新型コロナウイルスの蔓延のため、授業は後期のみとなり、三和地域には18人の学生が訪れ、学習と交流を深めました。



三和学園生徒との交流会の様子

実施することで、三和地域で暮らす人たちの思いや地域を守る取り組みを学ぶことができました。コロナ禍で、毎年実施していた三和の研究発表会は開催することができませんでしたが、2月20日（土）に、大学において全学の発表が行われる予定です（コロナウィルスの蔓延状況によりオンライン方式になることがあります。詳しくは大学までお問い合わせください）。
一般の傍聴も可能ですので、興味のある人はぜひご参加ください。



発表に向けての準備に協力

福知山市より

第23回

はばたきフェスティバル

すべての人が幸せを実感でき、自分らしく生きられる福知山市をめざして開催します。

テーマ「ともに尊重 ともに参加 ～ひろげよう男女共同参画の輪～」

◆オープニング

落語（内容は楽しみに！）

お気楽亭 おけら さん（落語ボランティア）

◆講演会

「たち上がれ！男！？女！？私！！」

～“〇〇らしさ”より「自分らしさ」～

講師：中村 彰さん（NPO法人SEAN理事）

※要約筆記・手話通訳・赤外線補聴システムあり（申込不要）

保育ルーム（2月12日（金）までに要予約）

※3階フロアにて、女性団体の活動等の展示を行っています。（1/28～2/20）

駐車場：ハピネスふくちやま前（有料）、伯耆丸公園前（無料）

<お問い合わせ> 福知山市人権推進室・男女共同参画センター
電話：0773-24-7022

2/21(日)
13:00～15:00
(受付開始 12:30)

ハピネスふくちやま
4階 市民ホールにて
入場無料・申込不要

F M丹波で月々金曜午後4時から放送中の番組「七色バラエティワイド」内で隔月1回、三和地域協議会が三和地域の情報を発信している『みわを元気に』のコーナー。第20回が昨年12月25日、クリスマス当日に放送



スタジオの様子

ラジオは…生活基盤部会

されました。今回は、三和地域協議会生活基盤部会長の後藤定司さんをお迎えし、部会活動と地域包括ケアについて、これから取り組む助け合いシステムについてのお話をいただきました。



上のQRコードを携帯電話やスマートフォン・タブレットで読み取り、出てきたリンク先をクリックすると、内容をお聞き

いただけます。（通信料がかかります）
初めての出演で、きちんと話したいと、台本を作った後藤さん。なかなか緊張感あふれるスタジオ、かと思いきや、後藤さんの人柄がよく分かる時間のお供に、お聞きいただけると嬉



後藤定司さん

令和になってから3年がたとうとしています、今のところ話題をほとんどコロナウイルスに持っていかれてしまっていますね。早いとこ終息してもらって、これから明るい令和になると良いなあと思っています。

先月、今年のごみ収集表を作成・配布しました。数年前まで配られていたカレンダーが便利だったとお聞きしているの、それと比べられるとすみません、という感じのものなのですが、少しでもお役に立てていれば幸いです。協議会に予備を置いて

編集後記

いますので、うっかり捨ててしまった、もう一枚欲しい、という方は事務局へお越しく下さいね。

先月のもう一つ、事務局スペースの模様替えを行いました。お客さんに気兼ねなくお話していただくよう、応接スペースに個室感を出してみました。…とはいえ、中が見えづらく、まだまだ入りにくい場所ではあるとは分かっております…事務所以外にも、ふれあいカフェのように、気軽にお越しいただけるスペースを作れたら良いなあと考えています。今年も、よろしく願いいたします。